

南三陸 復興まちづくり通信

第4号(平成26年10月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩いていくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。



伊里前地区で高台移転現場見学会 ～平成28年1月造成完了予定～

歌津伊里前地区で進められている高台移転造成工事の現地見学会が10月5日、柘沢、中学校上の両団地で行われました。

このうち、柘沢団地(59戸)の見学会(写真)には、仮設住宅などで暮らす被災者およそ50人が参加し、町や工事施工業者から、工事の概要や進捗状況などについて詳しい説明を受けました。

午後には、中学校上団地(56戸)でも同様の説明会が行われました。両団地とも再来年の春には宅地が引き渡される予定で、参加者たちは、再建する住宅のイメージを膨らませました。

中学校上団地に隣接する造成地には、伊里前地区災害公営住宅(集合住宅50戸、一戸建て10戸)の整備が予定されています。今月には集合住宅2棟(鉄筋コンクリート3階建て)の新築工事も始まっており、28年春の入居が見込まれています。



中学校上団地の完成イメージ図



トヨタ財団による研修会の様子(=神戸市)

トヨタ財団から助成金をいただきました

トヨタ財団による「復興(災害)公営住宅におけるコミュニティ形成の支援」プログラムの国内助成団体の1つに当法人が選ばれました。9月末に岩手、宮城、福島の助成対象6団体向けの研修会が神戸市で開催され、当会に助成金370万円が贈られました。今後、本支援事業のプロジェクトとして、「入居前から始める、南三陸町災害公営住宅 絆づくり事業」を展開し、コミュニティ形成や、周辺コミュニティとの関係構築、交流イベントの開催などを支援します。

南 三 陸 椿 も の が た り レ ポ ー ト

復興みなさん会では「南三陸椿ものがたり復興」と題して大津波に負けなかった椿を復興のシンボルに位置づけ、椿をテーマにした様々なまちづくり活動を展開しています。町外に避難している方も参加できる椿の植樹会や、津波から避難する道に沿って椿を植える「椿の避難路」づくりといった植樹活動に加え、椿のお花見や花流し、仮設住宅で椿茶を楽しみながら地域について語る茶話会なども開催しています。

これらの活動を通して、全国各地から苗木の提供を受けたり、植樹会などの活動に町外の学生、生徒が参加したりするなど、様々な交流の輪が広がっています。

今回は、8月以降の主な活動についてご紹介します。



8月20日、福岡大学復興支援隊第4次派遣隊の学生38人が、兵庫県加古川市立平岡中学校の植樹チームの生徒160人が6月に植えた、上の山の「椿の避難路」の下草刈り作業をしてくれました。



9月3日、私大ネット36に所属する国学院大学など4大学の学生32人が南三陸町を訪問。上の山の「椿の避難路」に続く熊野神社から町水道用池までの道路の草刈りなど、炎天下でのボランティア作業に取り組みました。



9月10日、角田市立金津中学校の2年生36人が来町。「南三陸椿ものがたり」の講話を行った際、椿の種100個を寄贈していただきました。さっそく苗木用に植えました。来春には芽を出してくれることでしょう。



10月7日、南方仮設住宅の住民20人が「椿のたねっこひろいバスツアー」に参加しました。戸倉神社境内など町内3ヶ所で、2升ほどの種を拾いました。椿油にして、みんなで楽しむ予定です。



10月11日、南三陸ポータルセンターで、おらほの学園祭「つらつら椿部」が開催され、仙台市などからの参加者を含めて11人が受講しました。7日に拾った種でポット苗づくりを体験するなど、和やかな交流会になりました。

「椿ものがたり」は、ゆっくと着実に進み、登場人物も多彩になってきています。

今後も、活動を通じて教育旅行の受け入れを図るほか、椿サミット、植樹イベントの開催や椿基金の設立などにより、全国の地域、団体・個人との交流を深めていく計画です。

南三陸町の復興を主題にしたこのものがたりが、壮大な物語世界へと発展するよう、復興みなさん会は活動を続けます。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、本年度の宮城県震災復興担い手 NPO 等支援事業の助成金を受けて、活動を行っています。